

展示室1d ぎふの日本画 京で学ぶ

2021年12月16日(木)～2022年3月27日(日)

○印は2月6日(日)まで、●印は2月8日(火)から

岐阜県美術館では、令和2年度から所蔵品展のなかで「ぎふの日本画」とテーマを設け、岐阜ゆかりの日本画家の作品を紹介しています。2回目となる今回は「京で学ぶ」として、京都画壇の作品や、その画家に学んだ幕末から昭和20年代までの岐阜の日本画家の作品を紹介します。

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
しおかわ ぶんりん 塩川 文麟	(1808-1877)	○ つる 鶴	不詳	紙本墨画淡彩
		● ふがく 富岳	不詳	紙本墨画
かいと ゆうりん 垣内 右嶺	(1825-1891)	○ えびす 恵比寿	不詳	紙本墨画淡彩
		● あおいのうえ 葵上	不詳	絹本着色
きし ちくどう 岸 竹堂	(1826-1897)	● ばくふ 瀑布	1861	紙本墨画
こうの はいれい 幸野 榎嶺	(1844-1895)	し き そうかす 四季草花図	明治期	紙本着色
かいと うんりん 垣内 雲麟	(1845-1919)	● ひなず 雛図	不詳	紙本墨画淡彩
たけうち せいほう 竹内 栖鳳	(1864-1942)	○ しゅうぎょうこらくず 秋暁孤鹿図	1900頃	紙本墨画淡彩
		● ばくふ ず 瀑布図	1900頃	紙本墨画
やまもと しゆんきよ 山元 春拳 かわい ぎよくどう 川合 玉堂	(1871-1933) (1873-1957)	○ わかまつちようよう 稚松朝陽	1911頃	絹本着色
川合 玉堂	(1873-1957)	○ しゅうかんみつりんず 秋澗密林図	1893	絹本着色
		● あいかわいさきびず 藍川漁火図	1893	絹本着色
まくち けいげつ 菊池 契月	(1879-1955)	○ ね ひ 子の日	大正初期	紙本着色
とくだ りんさい 徳田 隣斎	(1880-1947)	○ しょうかくしやうきん 松鶴小禽	不詳	絹本着色
		● ぶりようとうげん 武陵桃源	不詳	絹本着色
たまや しゆんき 玉舎 春輝	(1880-1948)	○ ぼくりく あさいち 北陸の朝市	昭和初期	絹本着色
		● ぶりようとうげん ず 武陵桃源図	1921頃	絹本金地着色
こじま しこう 小島 紫光	(1889-1960)	○ やま さち 山の幸	1953	紙本着色
いけだ こうえい 池田 虹影	(1892-1956)	○ あひる 家鴨	1912	絹本着色
		● がちょう 鷺鳥	1920頃	絹本着色
はせがわ ちようふう 長谷川 朝風	(1901-77)	ちようせんさんだいしおん かささぎす そうしん そうこう 朝鮮三題 (四温、鶺鴒の巢、霜晨)(草稿)	1940	紙本着色
つちや てるお 土屋 輝雄	(1909-62)	○ こうていしゆよ 後庭趣余	1942	絹本着色
		● みずべ かわせみ 水辺に川蝉	1943頃	絹本着色
かんじや こうさく 冠者 幸作	(1912-2012)	すもうあそ 角力遊び	1943	紙本着色